事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放設	児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室						
○保護者評価実施期間	2	0 2 5 年 2 月 8 日	~	2025年2月22日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	4人				
○従業者評価実施期間	2	0 2 5 年 2 月 8 日	~	2025年2月22日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人				
○訪問先施設評価実施期間	2	025年2月8日	~	2025年2月22日				
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2 0 施設	(回答数)	2 1 施設				
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日							

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ELECTOR TO CINC TO THE PARTY OF	本人様と利用者様に対して、定期的に必ず面談を 行っております。面談は状況に合わせて本人様と利 用者様一緒に、もしくは個別にお話させていただい ております。課題を明確にし、個々の目標に沿った 支援をさせていただいております。	支援の目的を明確にして支援をさせていただきま
2	保育所等訪問サービスについて、訪問先施設からは、子どもの特性に合った支援方法や双方での様子などの内容の情報共有ができて良かったとのお声をいただいております。	訪問を開始するに当たっては、毎回の訪問支援の中で、できる限り情報交換を行う時間を確保していただくことをお願いしております。日々の様子や支援の方向性などについて情報共有させていただいております。	今後も関係機関との連携を密に行い、チームとし て支援ができることを目指していきます。
17			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会開催について	保護者様同士の交流の機会を設けることができていない 現状があります。以前、日曜日開所でそのようなイベン トを企画したことがありましたが、参加希望者が少な かった経緯もあり、開催に当たってはより多くの方が参 加できるための工夫が必要と思われます。	開催の内容、方法や日程調整について検討し、たくさんの方に参加していただける形で計画していくことが必要であると考えています。
2	保育所等訪問支援サービスの周知について	保育所等訪問支援サービスについて、必要に応じて ご相談させていただいておりますが、サービス自体 を知らない保護者様もおられると思われます。	今後、サービスが必要な方に提供されるよう、保 護者様への周知を図りたいと考えています。
3			

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2025年3月14日

児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室

利用児童数 32人 回収 21人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	7		・様子を見ていただき分からないところは教えていただいた。 ・アルベンさんで「いいねがイント」というものをしていて本児にとって良いものなので効何間でもやってほしいとお聞きしましたがあまり具体的な説明がなかったのでもう少し分かりやすく教えてほしかった。 ・デイでの声掛けや伝わりやすり指導などがありましたらばひ教えていただきたいです。 ・行っていることについて詳しく説明してくださるので分かりやすいです。 ・ かったるとについて詳しく説明してくださるので分かりやすいです。 ・ 助高など特になかったです。 ・ 節さんかりかりやすく話して頂いて、アルベンさんの様子も分かり良かったです。 ・ 事業所を訪問した際、取り入れている音楽療法の内容やそれがもたらす効果を見せて頂き取り入れてみたいと思った。 ・遊びの時間を見てもらう事が多く、助高というよりは、お互いの施設での様子を共和しているといった事が多いです。 ・ 事業所での様子や取り組みを詳しく教えていただいています。 ・ とて互具体的で分かり下すいです。 ・ 事業所での様子や取り組みを詳しく教えていただいています。 ・ とて互具体的で分かりやすいです。「〇〇したら〇〇」と必ず理由づけもしていただけたので、助かりました。 ・ 学校との環境の違いもありまりました。 ・ 学校との環境の違いもあり「取り入れやすい」という面では難しさがあります。しかし、いつも分かりやすぐデイサービスでの状態を教えてくれています。 ・ その時の状況に応じた助歯をしてくれます。	・訪問支援員からの助言や説明は、できるだけ具体的でわかりやすく、状況に応じた内容を提供しています。環境の違いにより、すぐに取り入れやすい場面が少ないことも理解していますが、今後も、訪問先施設との連携を強化し、より適切な助言を提供できるよう努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足しています か。	15	6		・学校でも取り入れていきたい デイでの声掛けや伝わりやすい指導などありましたらぜひ教えていた だきたいです。 アルベンさんでの支援を聞かせていただく中で、本人が以前百手 だったことも少しずつできるようになってきて、本人に合う支援をし てくださっていることを聞かせていただく中で本人が以前百手だったこと も少しずつできるようになっているように優しるので、本人に合う支援をし でくださっていると感じます。 ・ 互いの場での子どもの様子の情報交換が主だったので、知識や技術 面を見る場面はなく判断できません。 ・ 満足している。 ・ 知らない支援方法や言葉かけなど、新たに知ることができました。 ・ 本人とのコミュニケーションツールとして交換日配をされていることや、個室での活動時間があったりと本人の特性に合った支援の技術 を伝えて開いています。 ・ 事業所で実践している方法の中で効果的な方法があれば、教えていただきたい。	・訪問支援員は、こどもの特性 に合わせた支援を行い、交換日 記や個室での活動など、効果的 な方法を取り入れています。今 後も実践している支援方法につ いて、さらに共有し、必要に応 じて新たな方法を提案できるよ う努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれてい ますか。	18	3		・デイでの様子など教えていただいた ・学校とデイでそれぞれの状況を共有できてよかった。 ・どんなことを取り組んでいるのか詳しく教えてくれるので、とてもありがたいです。 ・アルヘンさんで出来るようになったことも分かりやすく教えてくださってありがとうございます。 ・共通理解が出来て良かったです。 ・共通理解が出来て良かったです。 ・大規範に利用している関のの様子を見学しながら、ごちらの傾間に 応えてくれる。 アルヘンさんでの様子や、関の様子をお互いに話す事で、本児への 援助への参考となっています。 ・質問して、その時にすく幅かな回路を頂けたり、持ち帰って改めて 図話して頂けたのでありがたかったです。 ・はい、いつもありがとうこざいます。 ・はい、いつもありがとうこざいます。 ・。現解側でしていた腕、後日返答を化ただき、ありがたかったです。 ・透切に受け答えをしてくれます。	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	9	1	ごとが出来ることが増えました。 - 学校の帳子をかて、事業無行では支援の手立てについて考えているのかなとは思いました。 国りごとなど話しを聞いていただきありがとうございました。 - 課題のよ連理解は出来た思います。 - 解消はされていない。 - 訪問時の帳子で、気になる行動への対応についてアドバイス等いただけるとありがたいです。 - 本児が留でも成長が見られ、国りごとをあまり伝えていないので、この回路となります。 - 幼稚園での様子を見ていただき一緒に問題を考えることで、今後の支援に繋がる発見ができています。 - 国りごとを相談し、支援方法を教えていただくことができ、解消できたこともありました。 - 子どものつまづいている学習から取り組んでいただき、こちら側も取り組のべき課題も明確に把握することができました。	され、こどもの得意・苦手を把握することができました。学校とデイサービスの連携により、手立てを考える際の参考にしています。今後も支援の情報を共有し、より効果的な支援が行え	
5	事業所からの支援に満足していますか。	15	6		・学校、デイサービス、どちらでも木人の番手や得慮が見つかり、毎日参考にしながら手立てを考えることにつながっています。 ・アルペン清和での様子を知ることができ良かったです。 ・アドバイスをいただき満足している。 ・デイで消費っていることを学校でも頑張っていると思います。 ・学校で匿号ないように取り組んでくださっているのでとてもありがたいです。 ・学校で本が振りないようにアルペンさんの方でも取り組んでくださっているのでとてもありがたいです。 ・学校で本人たちが国らないようにアルペンさんの方でも取り組んでくださっているのでとてもありがたいです。 ・現り組んだ方が良い具体的な例などを教えていただきたい。 ・江がりら母々と連携を取って、様々なアドバイス等をもらっていけたらと思います。 ・満足しています。ありがとうございます。 ・はい、いつもありがとうございます。 ・はい、いつもありがとうございます。	でき、良かつたと感じていま す。今後もこのようか連携を継	
その他のご意見					・学校に来ていただいた際、話をすることで連携できることもありそれぞれが支援でき良かったです。 ご意見を踏まえた対応		
もつながのさい。 ・訪問問ののはす。 ・3 学財みを ・3 学別みを	・訪問の際には、学校で本人たちが困っていることを聞いてくださって、アルペンでもできるように支援してくださって学校でも出来ることが増え、本人の自信にもつながったと思います。 ・学校の様子を見て終わりという感じがしました。 富鬘が難しいですが学校で出来ること・手立てなどご助霊があり、連携出来たらいいなと思います。 ・訪問された後にお話をする時間を取ることができず、説明や助霊の機械がありませんでした。 ・訪問された後にお話をする時間を取ることができず、説明や助霊の機械がありませんでした。 ・訪問の際には、本児の様子を共有し話をさせて頂くことで、提助のヒントになったり置では見られない姿などを聞かけせてもらい参考にさせてもらっています。 ・聞での様子を共有でき、また逆にアルペンでの様子を聞くことができるので訪問支援に周辺してる、場面ことの規助のアドバイスをもらえたり、音楽発表会前には「アルペンの方でもリズム打ちをやってみます」とも思ってくださり心後かった。連携できているなと参じることができています。いつもありがとうこざいま				・初めての取り組みで手探りの中でも進展が見られたことを嬉しく思います。今後も状況の把握を丁寧に行い、課題を 共有しながら支援を進めていきます。 ・支援会などで、職員とじっくりと話をする機会について、今後、定期的に設けられるよう調整を検討します。生徒が いる時間帯のやり取りが難しいことを踏まえ、別途時間を確保する方法を模索します。 ・情報共有や各機関・専門家との連携を大切にし、今後も支援を進めていきますので、引き続きよろしくお願いいたし ます。 ・今後も、情報共有を定期的に行わせていただきます。 また、必要に応して訪問先で職員が実際に支援に入らせていただきます。 ・訪問日程のお電話につきましては、園さんのご都合よろしいお時間に、お電話させていただきます。		

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室

公表日 2025年3月14日

利用児童数_______31人

回収数

18人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7			11		・訪問支援に使用する教員・教材は整えています。 今後も、利用者様一人一人に適した支援ができるよう、必要な教材の見直しや充実を図っていきます。
環境・体	2	ブライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	17			1		・プライバシーに配慮された面接室を整えていま す。安心してご相談いただける環境を維持できるよ う、引き続き配慮してまいります。
制整備	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17			1		・事業の目的について適切に説明を行っています。 今後も引き続き、分かりやすい説明を心がけ、保護 者の皆様にご理解いただけるよう努めてまいりま す。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	16	2				・保育所等訪問支援の頻度や時間は、ご相談の上で 決定しています。今後も、利用者様の状況に応じた 適切な支援が行えるよう、引き続き丁寧に対応して まいります。
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思い ますか。	14	2		2		・一人一人の状態に応じた支援が提供できるよう、 適切な職員体制を整えています。今後も、より良い 支援が行えるよう、職員の配置や研修に努めてまい ります。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	13	4		1		・特性を理解し、一人一人に応じた支援を行っています。今後も専門性の向上に努め、より質の高い支援が提供できるよう取り組んでまいります。
適切が	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されている と思いますか。	16	2				・利用者様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析し、適切な支援計画を作成しています。今後も、 一人一人に寄り添った計画づくりに努めてまいります。
な支援の	8	保育所等訪問支援計画 (個別支援計画) には、訪問先施設や担任等の意向 が盛り込まれていると思いますか。	11	3		4		・訪問先施設や担任の意向を踏まえた支援計画を作成しています。今後も関係機関との連携を深め、より適切な支援が提供できるよう努めてまいります。
提供	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等 訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。	15			3		・保育所等訪問支援計画には、ガイドラインに基づ いた具体的な支援内容を盛り込んでいます。今後 も、支援内容が適切であるように、定期的に見直し を行ってまいります。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				・保育所等訪問支援計画に沿った支援を行っています。今後も計画に基づき、利用者様にとって最適な 支援が提供できるよう努めてまいります。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われてい ると思いますか。	14			4		・保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設の状況に配慮した支援を行っています。今後も施設の ニーズに応じた柔軟な対応を心がけてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明があ りましたか。	18					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	17			1		「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内 習の説明を行っています。今後も引き続き、分かり やすく丁寧な説明を心掛けます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6		7	5	家族等の参加できる勉強会や、情報交換ができれば嬉しい。	・現在、ご家族で参加できる内容を検討しております。情報交換の機会は今後増やしていけるよう努めてまいります。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17			1		- 一人一人の状況について、必要なときに保護者様 としっかりと情報状存を行い、利用者様の健康や発 違の状況、課題について共通理解を深かています。 今後も、情報を適切に共有し、連携を強化していき ます。
保護	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
者への恐	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
説明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	18					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	18					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13			5		 事業所は、訪問先施設からの相談に適切に対応し、必要な助言や支援を行っています。今後も、施設との連携を深め、より良い支援が提供できるよう努めてまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について 話し合いが行われていると思いますか。	15			3		・保育所等訪問支援を実施した際、訪問先施設と支 援内容についてしっかりと話し合いを行っていま す。今後も、施設との連携を密にし、支援内容が利 用者様にとって最適なものとなるよう努めてまいり ます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされて いると思いますか。	18					
非常	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や 業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されています か。	14	1	1	2		・定期的にホームページ、SNSなどを適じて、活動 概要や連絡体制、業務に関する自己評価の結果をお 伝えしています。今後も、より多くの情報を迅速に 共有し、利用者様や保護者様に役立つ情報を発信し ていきます。
時等の対	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1				・個人情報の取り扱いには十分に留意しており、適 切に管理されています。今後も、個人情報の保護に 万全を期し、安心してご利用いただける環境を提供 していきます。
応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるよう にしていると思いますか。	13			5		・事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と 連携し、実践できる体制を整えています。今後も、 緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう、さらに連 携を強化してまいります。
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1				・事業所では、利用者様の安全を確保するための計画について周知し、安全な環境が十分に整えられた上で支援を行っています。今後も、安全管理を徹底し、安心して支援を受けていただけるよう努めてまいります。
満足度	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	1	1		会話がまだできないので、わかりませ ん。	・今後も利用者様の様子をしっかりと観察し、意思を確認しながら柔軟に対応していきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	17	1				・今後もさらに良い支援が提供できるよう、努力してまいります。

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室

公表日

2025年3月14日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
様境・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	14			
整運備営・	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	3	・職員の配置数は適切であり、利用希望者に対して十分な支援が提供できる体制が整っています。	
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2	・業務改善のためのPDCAサイクルに、職員が 積極的に参画しており、目標設定や振り返り が行われています。	
***	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	14			
業務改善	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	13	1	・従業者の意見を把握する機会を設け、その 内容を業務改善に活かしています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4		・現時点では第三者委員会などによる外部評価は実施していませんが、今後実施するかどうかを検討しています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	・外部の講師を招いて降がいに対する特性や対応に関する研修や、県または市が主催する研修に積極的に参加しています。(主に虐待防止研修・強度行動障害研修・相談支援従事者研修・サービス基礎研修など)	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	14			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	1	・保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支 接管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が 共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が 行われています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	14			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	・保育所等訪問支援計画は職員間で共有され、計画に沿った支援が行われています。	
適	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2		・より体系的にこどもの適応行動を把握する ために、標準化された評価ツールの導入を検討し、支援の質を向上させていきます。
つ切な支	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	14			
援の提供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	・保育所等訪問支援計画は職員間で共有され、計画に沿った支援が行われています。	
供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	13	1	・支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チー ムで連携して支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	1	・支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせ を行い、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	14			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	14			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	14			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
関	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	3	・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などの関係 機関と連携し、支援を行う体制が整っています。今後も 連携を強化し、こどもに対する支援の質をさらに向上さ せていきます。	
係機関	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			
や保護者	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	5	・質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修 に参加させています。	
ことの連	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	6		・今のところ機会はありませんが、参加を検 討してきます。
携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	14			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	6		・現在実施しておりません。今後ベアレント・トレーニング等の研修に参加し、必要に応じて個別に支援することを検討していきます。また日頃から支援に関する相談に対して、保護者に助言を行っています。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に 説明を行っているか。	14			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の 尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	14			
保	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保 護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	14			
護者等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、必要な助言と支援を行っているか。	12	2	・定期的に、家族等からの子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っています。	
への説明	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	8		・今後、必要に応じて行う予定です。
等	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	14			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、 必要な助言や支援を行っているか。	14			
訪問先	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っ ているか。	13	1	・保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設 とカンファレンスを行っています。	

施設への	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を 行っているか。	14			
説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門 的な助言を行っているか。	13	1	・訪問先施設からの相談に対して、適切に対応し、信頼 関係を築きながら専門的な助言を行っています。引き続き、施設のニーズに応じた支援を提供し、より良い協力 関係を構築していきます。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。				
非常	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措 置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1	・研修や避難訓練等は、毎月計画的に行っております。	
時等の	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	14			
対応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	14			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児 童発達支援計画に記載しているか。	12	2	・初回面談時に説明し、必要に応じて面談を 行い個別支援計画等にも記載します。	